

第2回市民放射線被ばく量調査報告会次第

日時 平成24年7月22日(日) ①昼の部 15時～17時

②夜の部 19時～21時

場所 二本松市安達文化ホール

1 開 会

2 あいさつ

二本松市長 三保 恵一

3 放射線内部被ばく量調査(WBC)結果概要に係る講話・助言及び質疑

「放射線内部被ばく量調査(WBC)結果の見方、考え方、今後の注意点等について」

講師

茨城県立医療大学保健医療学部放射線技術科学科 准教授 佐藤 斉先生

獨協医科大学国際疫学研究室福島分室 室長(准教授) 木村真三先生

(1) 椅子型

(2) 携帯型(岡野式)

(3) 質疑

4 その他

5 閉 会

《放射線専門家チーム略歴》

佐藤斉(ひとし)先生：医学博士、診療放射線技師、第1種放射線取扱主任者。

医療被ばく、被ばく線量評価、正しい計測の為に遮蔽計算等を研究テーマに、核実験場周辺の被ばく調査(現カザフスタン：セミパラチンスク)や、チェルノブイリ原発事故による汚染地域住民の被ばく健康調査中。

木村真三(しんぞう)先生：地球環境学博士。

放射線医学総合研究所や労働安全衛生総合研究所勤務後、23年8月～獨協医科大学准教授。福島原発事故発生後の3月15日以降、放射線測定のカンファレンス、岡野真治(まさはる)氏と共に車で福島県内各地を周り、その調査結果は、NHKのETV特集「ネットワークで作る放射能汚染地図」として放映。

チェルノブイリ原発事故によるウクライナ ジトミル州ナロージチ地区住民健康調査中。